

令和3年度 伊根町災害ボランティアセンター運営委員・職員合同研修会

- ・日 時 令和4年1月17日(月)午後1時30分から午後3時15分
- ・場 所 伊根町老人福祉センター「泊泉苑」

- ・参加者 20名
伊根町災害ボランティアセンター運営委員(14名)
伊根町社協職員(6名)

- ・講 師 京都府災害ボランティアセンター事務局 東 直美 氏

- ・内 容 災ボラ運営委員及び職員を対象に、コロナ禍で発災した場合どのような準備(体制や心の準備)が必要なのかを理解し、発災に備える機会として開催。
【明日発災した場合を想定して】 密にならないようグループを4班作り分散し、実際にクロスロード(グループワーク)を用いて、以下の項目を沿って災害時に災害ボランティアセンターの運営を担う運営委員と社協職員相互の考えや気持ちを共有しました。
 - ①災害 VC を立ち上げる際の住民感情はどうか。
 - ②ボランティアを受け入れる場合、ボランティアの居住地はどの範囲(地域)に設定するのか。
 - ③通常とは異なる準備物と行動は何か。
 - ④その他具体的にどのようなことが懸念されるか。



・京都府災ボラより、新型コロナウイルス感染症と最近の災害ボランティア活動について説明



・各テーブル 4 班に分かれクロスロードというカード形式で、災害時の判断について参加者と意見を交わしました。

